

科目名	保育原理（卒業必修：保育士必修）				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2021年度 前期	単位数	2		
担当教員	市川 和彦				
内容および計画	<p>本科目は、保育者になるための最低限の知識、理論を学習し、保育現場における原理と特性、環境、方法について理解していく。保育の歴史、理念と概念、子殿最善の利益と保育、子どもの家庭福祉と保育、保育の社会的役割と責任について学ぶとともに、現代における様々な保育問題について理解する。</p>				
1	保育の理念と概念、目的①（保育士の働く場と子どもの最善の利益追求）				
2	保育の理念と概念、目的②（児童の権利に関する条約）意義と目的（1）保育の意義と保護者の協働				
3	保育の思想と歴史①（西欧を中心に）				
4	保育の思想と歴史②（西欧を中心に）				
5	保育の思想と歴史③（日本を中心に）				
6	保育と関係法令、制度（児童福祉法、子育て支援新制度等）				
7	保育の特性と実施体制				
8	保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定子ども園教育・保育要領				
9	保育の目標と方法、環境				
10	子どもの家庭福祉、保護者支援				
11	施設保育士と養護				
12	保育課程と指導計画の意義と方法				
13	記録、省察、評価の意義と方法				
14	諸外国の保育の現状（スウェーデン、ノルウェー、イギリス、イタリア、アメリカ）				
15	日本の保育の現状と課題（少子化、待機児童、障がい児保育、人材（保育士）の確保、子どもの虐待）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『新・基本保育シリーズ①保育原理』	児童育成協会監修	中央法規	9784805857816	2019
	『幼稚園教育要領』平成29年告示	文部科学省	フレーベル館	978-4577814222	2017
	『保育所保育指針』平成29年告示	厚生労働省	フレーベル	978-4577814239	2017
	『幼保連携型認定こども園、教育・保育要領』平成29年度告示	厚生労働省	フレーベル館	978-4577814246	2017
参考書					
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	総合評価レポート				90
	課題別レポート				
	その他、授業中の取り組み				10
学習到達目標	保育の意義と目的、保育思想とその歴史の変遷等とおして、保育者になるための最低限の知識や理論を理解し、保育を取り巻く状況の今日的な課題を把握することを目的とする。				

先修条件	特になし
実務経験	実務経験あり：障害児入所施設に4年、児童養護施設に3年間児童指導員として身を置き保育士とともにケアワークに従事してきた。
その他	